

第24期 決算公告

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

和歌山市七番丁24番地
紀陽リース・キャピタル株式会社
代表取締役社長 山本 敏樹

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	8,416,764,785	流動負債	2,694,260,536
現金及び預金	362,908,346	買掛金	199,047,782
割賦債権	1,236,180,170	短期借入金	100,000,000
リース投資資産	6,761,325,296	長期借入金(一年以内返済)	2,307,107,000
賃貸料等未収入金	23,877,029	未払金	13,103,747
未収入金	6,015,600	未払費用	4,068,725
未収法人税等	3,842,300	賃貸料等前受金	48,140,880
未収消費税	32,294,982	預り金	1,827,215
前渡金	500,000	前受収益	3,245,000
前払費用	57,029,121	その他の流動負債	3,912,973
その他の流動資産	854,791	賞与引当金	13,807,214
貸倒引当金	△ 68,062,850		
固定資産	247,396,765	固定負債	4,534,146,217
有形固定資産	14,448,240	長期借入金	4,453,909,000
賃貸資産	54,270	退職給付引当金	5,073,600
社用資産	14,393,970	繰延税金負債	75,163,617
車輛	10,390,126		
備品	4,003,844		
無形固定資産	15,856,454		
その他の無形固定資産	15,856,454		
無形自社資産	6,109,254		
ソフトウェア仮勘定	8,640,000		
電話加入権	1,107,200		
		負債合計	7,228,406,753
		純資産の部	
投資その他の資産	217,092,071	株主資本	1,368,641,242
投資有価証券(株式)	177,962,572	資本金	150,000,000
破産更生債権等	35,340,703	資本剰余金	27,911
出資金	5,766,363	資本準備金	27,911
預け金	15,000,000	利益剰余金	1,218,613,331
差入保証金	622,080	その他利益剰余金	1,218,613,331
預託金	13,472,730	繰越利益剰余金	1,218,613,331
貸倒引当金	△ 31,072,377	評価・換算差額等	67,113,555
		その他有価証券評価差額金	67,113,555
		純資産合計	1,435,754,797
資産合計	8,664,161,550	負債及び純資産合計	8,664,161,550

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

その他の有価証券	時価のあるもの 時価法 時価のないもの 移動平均法による原価法
----------	------------------------------------

2. 減価償却の方法

賃貸資産	リース期間を償却年数とし、リース期間満了時の処分見積価額を残存価額とする定額法
------	---

車輜及び備品	法人税法に定める定率法
--------	-------------

無形自社資産	法人税法に定める定額法
--------	-------------

3. 引当金の計上基準

- | | |
|-------------|--|
| (1) 貸倒引当金 | 債権の貸倒れによる損失に備えるため、資産の自己査定基準に基づき計上している。 |
| (2) 賞与引当金 | 従業員の賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額のうち当期の負担に係る金額を計上している。 |
| (3) 退職給付引当金 | 従業員の退職金の支給に備えるため、自己都合退職による期末要支給額に相当する額を計上している。 |

4. 収益・費用の計上基準

- | |
|---|
| (1) ファイナンス・リース取引に係る売上高および原価の計上基準は、リース料を收受すべき時に売上高と売上原価を計上する方法により処理している。 |
| (2) 割賦販売取引は、日本公認会計士協会 業種別監査委員会報告第19号「リース業における金融商品会計基準適用に関する当面の会計上及び監査の取扱い」に基づき処理している。 |

5. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用している。

6. 税効果会計を適用している。